

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年2月13日

【会社名】 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス

【英訳名】 POLA ORBIS HOLDINGS INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 鈴木 郷史

【本店の所在の場所】 東京都品川区西五反田二丁目2番3号
(同所は登記上の本店所在地で実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。)

【電話番号】 該当事項はありません。

【事務連絡者氏名】 該当事項はありません。

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区銀座一丁目7番7号

【電話番号】 03-3563-5517

【事務連絡者氏名】 取締役財務担当 藤井 彰

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生日

2019年2月12日

(2) 当該事象の内容

連結決算

当社の連結子会社であるPola Orbis Jurlique Holdings Pty Ltd(以下、POJH)傘下のJurliqueグループの業績が、事業を取り巻く環境の変化への対応並びに業績回復に向けた取り組みの成果の遅れにより、事業計画を下回って推移していることから、今後の中長期的な事業計画及び同事業が生み出す将来キャッシュフローを見直した結果、Jurliqueグループにおける固定資産(のれん及び商標権等)について減損損失を計上いたします。

個別決算

Jurliqueグループの財政状態を勘案した結果、当社が保有するPOJH株式について減損処理を実施し、関係会社株式評価損を計上いたします。また、POJHの連結子会社であるJurlique International Pty. Ltd.への当社からの貸付金に対し貸倒引当金を計上いたします。

(3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

2018年12月期の連結決算及び単体決算において、下記の通り特別損失を計上いたします。

なお、関係会社株式評価損及び貸倒引当金繰入額は、連結決算において消去されるため、連結財務諸表に与える影響はありません。

連結決算

減損損失 11,331百万円

個別決算

関係会社株式評価損 14,237百万円

貸倒引当金繰入額 2,285百万円